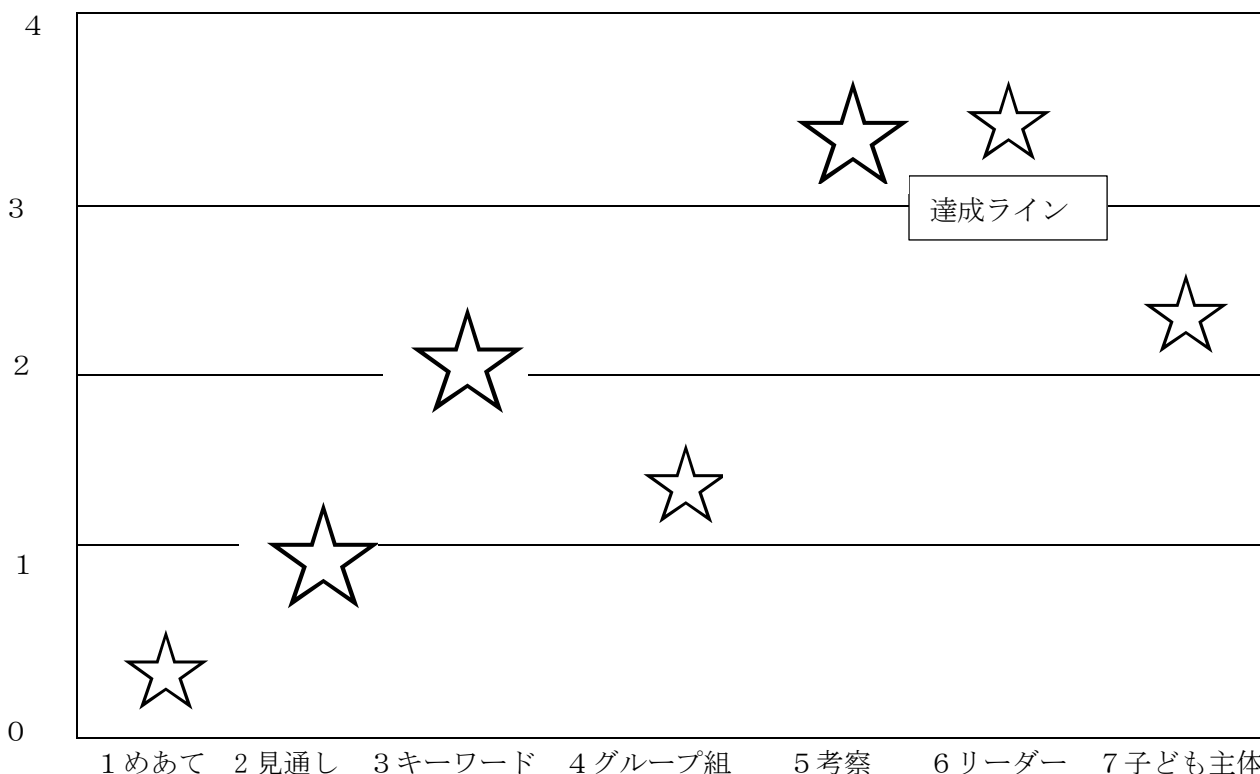


教師主体の授業では、子どもは育たないことに気が付いたでしょうか。教師だけの授業評価も、次の授業にはつながらない。子どもの参加が重要である。そこで、子どもと教師の協働の学習活動評価を複数回行うとよい。これが授業評価（学習活動評価）だ。今回は、愛知御津中の授業評価を参考にした。

1 学び合い評価シート（模造紙半分）

到達度



(他に、板書、言語活動、指導要領、単元計画、学習指導案、ホワイトボード、ICT 等が予想される。)

2 評価項目の別掲（評価シートとあわせて「今日の学び合い」）

今日の学び合い

めあて

見通し

キーワード

主体的 (リーダー)

考察

3 子ども協議会（教師も一緒に参加する。）

- ①全員が、付箋紙に自分の評価数値と考えを記入する（学びの班で評価項目を分担する方法もある。）
- ②授業評価シートに付箋紙を貼り、数値化を図る。
- ③学級全体で、授業評価シートに②の意見を数値を中心に集約する。
- ④次の授業に努力することを、リーダーが発表する。

*教師だけの評価は、別な日にワークショップで行う。（行わないこともある。）